

「聞こえない人とマスク」

今回のコロナウイルスの感染予防で、皆さんマスクをしていると思います。「聞こえない人には口を見せて話す」ということが当たり前かと思いますが、こういうときはどうするのだろう…という疑問がわいてきました。

先日テレビで、この問題を解決する一つのアイデアが提案されていました。それは、口元が見えるマスクです。



アメリカで聴覚障害のことを学んでいる21歳の女子大学生が作ったそうです。これだと、口元が見えるので相手が何を言っているのかわかりやすくなりそうです。

とはいえ、すぐに手に入るわけでもないし、現在どうしているか、難聴の友達に聞いてみました。

- 筆談中心になるけど、すべてできるわけではないから、基本的に想像で会話している。

→でもYes/Noに関わることは「絶対」言わない

- 自分が伝えたいことを先に言う

→例えばコンビニでお弁当を買ったときに「おはしいりますか？」と聞かれる前に、「おはしてください」というとか

- スマホの音声入力機能を使って相手にスマホに話しかけてもらい、文字にする。

→筆談より早い場合もある。正しく出ないこともあるけど、なんとなく推測できる。

(音声文字変換というアプリもあるようです)



音声文字変換
Research at Google

↑ Android 用



音声をテキストに変換する - Speechy...
時間制限なしの文字起こし

↑ iPhone 用

やりとりすることがだいたい決まっているスーパーやコンビニなどのお店では、指差しボードがあるとよい、という意見もあるようです。マスクがあってもなくても、あった方がよいものですね。

これを機に聞こえない人への情報保障のシステムがもっと整えられるよう、一緒に考えていきたいです。